

会議録（案）

会議の名称	西東京市立中原小学校建替協議会（第1回会議）
開催日時	平成27年10月26日（月） 午前10時から午前11時15分まで
開催場所	防災センター6階 講座室2
出席者	<p><委員>上岡学、沼本禧一、長濱美玲、河野美晴、梅原后代、佐藤裕子、森辰子、水野伸一郎</p> <p><事務局等>前田哲（教育長）、南里由美子（教育部特命担当部長）、早川礼成（教育企画課長）、倉本直子（教育企画課企画調整係長）、和田克弘（教育企画課企画調整係主査）、福井光（教育企画課企画調整係主事）、根岸伸太郎（教育企画課学務係主査）、等々力優（学校運営課長）、福田勇吾（学校運営課長補佐（施設係））、稲村敬史（学校運営課施設係主任）</p>
傍聴者	0人
議題	<p>1 開会</p> <p>2 教育長あいさつ</p> <p>3 委員の任命及び依頼</p> <p>4 会長の指名（副会長の指名）</p> <p>5 自己紹介</p> <p>6 西東京市立中原小学校建替協議会の運営について</p> <p>7 中原小学校及びひばりが丘中学校建替準備検討協議会の検討状況等について</p> <p>8 中原小学校の概要について</p> <p>9 今後の予定について</p> <p>10 その他</p> <p>11 閉会</p>
会議資料の名称	<p>資料1 西東京市立中原小学校建替協議会設置要綱</p> <p>資料2 西東京市立中原小学校建替協議会傍聴要領</p> <p>資料3 西東京市立中原小学校建替協議会委員名簿</p> <p>資料4 西東京市立中原小学校及び西東京市立ひばりが丘中学校建替準備検討協議会検討結果最終報告書</p> <p>資料5 西東京市立中原小学校建替協議会平成27年度スケジュール（予定）</p>
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 <input type="checkbox"/> 会議内容の要点記録
会議内容	
<p><○発言者：発言内容></p> <p>開会</p>	

議題2 教育長あいさつ

議題3 委員の任命及び依頼

各委員への任命状（学校長）及び依頼状（学校長以外）の机上配布をもって任命及び依頼とする。

議題4 会長の指名（副会長の指名）

「西東京市立中原小学校建替協議会設置要綱」に基づき、水野委員（中原小学校長）を会長として就任。水野会長が沼本委員（学識経験者）を副会長に指名。

議題5 自己紹介

各委員及び事務局の自己紹介。

議題6 西東京市立中原小学校建替協議会の運営について

会議録は、委員の名前を伏せた上で、発言者の発言内容ごとの要点記録とし、傍聴の取り扱いは資料2のとおりとすることに決定。

議題7 中原小学校及びひばりが丘中学校建替準備検討協議会の検討状況等について

○事務局：資料4に基づき説明。

議題8 中原小学校の概要について

○会長：中原小学校の教育目標等について説明。

議題9 今後の予定について

○事務局：資料5に基づき説明。

○委員：けやき小学校にはオープンスペース教室が導入されたが、市で効果等の検証されたのか。

○会長：使用状況等について、何かしらの形で反映していただけると良いと思う。けやき小学校の校長から伺った話もあるので、機会があればお話をさせていただきたい。

議題10 その他

○事務局：次回会議については、日程調整ができ次第連絡させていただく。

○事務局：せっかくですので、先ほど話題の出たオープンスペース等の学校形態について、委員の皆様はどうお感じであるか教えていただければと思う。

○委員：子どもは授業に集中できないのではないかと気になった。ただ、開かれていますので、授業を見る側にとっては良いと思う。また、けやき小学校はトイレが綺麗であった。トイレ前のスペースに憩えたりすることができたので、魅力的である。

○委員：子どもの立場から考えると、最初からオープンスペースの学校ならば、大人が思っている以上に慣れてしまう。また、力のある先生がいるところは、オープンスペースは効果的である。そうでない場合は、子どもたちがざわついてしまうことがあるようである。細かく区切られた従来型の教室とオープンスペース型の教室が混在しているのが良いが、敷地の制約があると思われる。

○委員：それぞれ一長一短がある。教師の力量だけではなく、学校の規模によっても影

響される。実際に指導するのは教員なので、中原小学校の教員の方々がどう思っているかという意見を汲み上げれば、中原小学校の地域性に基づいた学校づくりになるのではないか。

- 委員：10～20年前に総合学習が出来た時に、オープンスペースが流行した。その後、学力という方向に力を入れ始めて下火になったが、また復活しつつある。それはアクティブラーニング、協働学習の出現であり、オープンスペース的な教育環境が良いのではないかとわれ始めている。今までの評価と違った形でオープンスペースが有効になってくるかもしれない。
- 会長：ハードの問題だけではなく、ソフトの問題もある。そういった環境を有効活用できる人を育てたり、考えを浸透させたりする必要がある。また、中原小学校がこれまでに培ってきた良さや、これからの将来に向けて残しておきたいものや目に見えない考え方等を形にして残すということを学校で今やっている。いずれ子どもたちにも同様な事を聞いてみたいと考えている。
- 委員：先生達は、小学校1年生が相手だとオープンスペースは手こずってしまうような気がする。高学年辺りから実施するというのは良いのかもしれない。
- 会長：けやき小学校は壁がフレキシブルに移動できる可動式を採用している。必要に応じて柔軟に対応できるハードが望ましい。
- 委員：保護者からすると色々な子どもが見えて良いという面があるが、子どもによっては広すぎて遊びに行ってしまう可能性がある。児童全員が集まれるホールのようなものがあるのは良いと思う。
- 委員：オープンスペースを初めて聞いた時は衝撃であった。けやき小学校は、広々としており、温かみを感じた。
- 委員：同じくオープンスペースを聞いた時はびっくりした。けやき小学校は1度行ったことがあるが、寒くてもプールでの活動がしやすそうな印象を受けた。

閉会